

議 事 録

会議名	第1回教育課程編成委員会		提出日	2022 年3月 31 日	
開催日時	2022 年3月 13 日(水)	13:30～14:30		場所	本部館 6F 特別室
出席者	林学校長、立見学校長代理、瀬尾副校長、森田委員、猪俣委員、新井委員、眞庭				
				書記	眞庭
議 事 内 容					
1. 学校長挨拶					
2. 出席者確認・ご紹介					
3. 議事（報告：立見学校長代理）					
①今年度の職業実践専門課程実施に係る実習・演習実績報告					
②次年度の予定・計画					
次年度へ向け課題としている「自主性の養成」について各委員へ諮問					
③所感・質疑及び学校からの諮問への回答					
新井：学習/採用環境の厳しい中で、合格実績を上げているのは素晴らしいことである。					
合格/採用された学生が末永く活躍してくれることを願う。					
そのためにも、業務について具体的に知り採用後のギャップをなくすことが大切。					
警察の例では、県が開催する防犯教室（子供向け・大人向け）で、意識すべきことが理解できると思う。必要なら仲介する。					
← 「防犯」については、警察における予防の観点だけでなく、市町村における「街づくり」にも通じるものがあると思われる。					
子供向けでは以前実施した「防犯マップ作り」も含まれているようなので、採用の可否を検討してみたい。					
猪俣：当社が企業コンサルを行う際に、次に示す手順で社員の自覚を促している。					
① 顧客の具体的ニーズ分析 ②自社の対応 ③自身ができること、足りないこと					
ここから、自分がなすべきことを自覚させる。					
← 公務員であっても基本の図式は変わらない。受験先研究及び志望動機づくりの内容として実施をぜひ検討したい。					

議 事 録

森田：この数年で事務職の職場環境が大きく変化しています。県庁では、執務の机を固定しないフリーデスクが今年度から徐々に導入されるようです。最小限の資料と端末を持ち毎朝執務場所を決め、その他資料はクラウド保管し、在宅勤務にも対応するカタチらしいです。一般にはあまり知られていないようなので、就職後の自分を想像するためにも学生に見学させてはどうか。

← 座る場所を決める段階から、誰かに指示されるのではなく「自分決めなければならぬ」という働き方を自覚させるためにも検討に値する。

森田：学生はリモート授業等で「受信」には充分慣れてきたかと思いますが、今後の官庁は「発信」業務が増えます。学生時代に「配信すること」を経験させておくとういのではないのでしょうか。（例えばフィールドワークの発表）

← 環境さえ構築すればできる受診と異なり、色々な下準備が必要な「配信」の経験は自己PRの材料にもなるかと思われるので検討したい。

森田：公務員においては、次年度から「定年延長（65歳まで）」が制度化されます。未だもって詳細が公表されていないのですが、「再任用」との使い分けや「定員」との関係等新規採用数への影響があるかと思っています。

立見：沢山のご提言や貴重な情報のご提供ありがとうございました。「教育」というよりも「卒業生」のより一層の質向上に向け新たな試みを検討・導入したいと思います。

林：専門学校として生き残っていくためには内部での工夫が必要になるので、しっかり改善していきたいです。本日は、ありがとうございました。

4. その他

・委員の移動について：今年度の予定はありません

・次回開催：2022年7月頃予定

以 上